



表紙のことは

1月1日号は、お正月らしい写真をお届けしようと、勤労青少年ホームの着付け講座に通う女性に振り袖を着てもらいました。

撮影したのは12月上旬。暖冬のせい、12月だというのに紅葉がとてもきれいで、紅葉を見に訪れるお客さんたちでにぎわっていました。紅葉と振り袖の2倍楽しめる撮影となりました。

市民の動き

人口 / 86,303人 (前月比+140人)

(外国人登録者4,070人含む)

男性 / 43,614人 (前月比+61人)

女性 / 42,689人 (前月比+79人)

世帯数 / 30,185世帯(前月比+94世帯)

平成19年12月1日現在

広報

ふくろい



袋井市の市章

2008年(平成20年)1月1日発行 第67号

編集・発行 / 袋井市役所総務部秘書広報課広報広聴係 千437-8666

静岡県袋井市新屋一丁目1番地の1 TEL 0538-43-2111(代表)

【ホームページ】

<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/>

【携帯サイト】

<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/i/>

【Eメール】

hisyo@city.fukuroi.shizuoka.jp

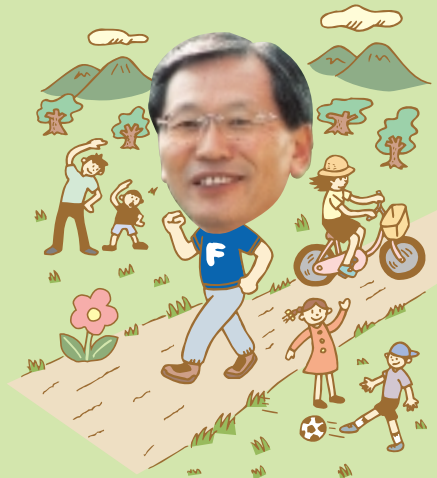


古紙配合率100%再生紙を使用しています

原田市長の

さんぽみち

散歩道



新年明けまして、おめでとございます。

今年も拙文ですが「市長の散歩道」をよろしく願っています。

去年は、「ニセモノ」と「期限改ざん」騒ぎの年でした。1月の「不二家」の期限切れ牛乳でのシークリームから始まって、6月には「ミートホープ」の食肉偽装、8月に「白い恋人」の期限改ざんと北海道で食品関係の事件が連続して発生した。その後、10月上旬には、名古屋コーチン偽装、伊勢名物「赤福」の製造年月日の虚偽表示が発覚し、下旬には、大阪の一流料亭「船場吉兆」の消費期限改ざんと食材偽装が見つかり、11月には、本市に工場のある「ニチアス」で耐火性能偽装が発覚した。

「本物を選ぶ年」

理由は、業界の激しい競争に勝つため、利益を出すため、食中毒などの被害者は出ないからと様々であったが、共通しているのは、「自分だけ良ければ」という身勝手な考えに立っていることだ。我が国は、終戦直後の一時期には、外貨稼ぎのために、安かろう悪かろうで輸出に精を出したこともあったが、今日では、国民の努力で、自動車をはじめ、家電品、衣料品、食料品に至るまで、その品質と安全性は世界中から全幅の信頼を得ている。それが日本人の質の高さへの評価にもつながっている。

悪かろうで輸出に精を出したこともあったが、今日では、国民の努力で、自動車をはじめ、家電品、衣料品、食料品に至るまで、その品質と安全性は世界中から全幅の信頼を得ている。それが日本人の質の高さへの評価にもつながっている。

今、これほど「ニセモノ」事件が頻発するのは、もちろん生産者にすべての責任があるが、いつの間にか私たち消費者にも、生活が豊かになった結果として、「スキ」が生じているのかもしれない。地に足のついていない生活で、ブランド品や有名品を求め、見た目の良い物を選び、自分で確かめず他人の評判で価値を決める習慣が身に付いてしまった。

今年は、本当に価値があるかを自分の目と舌と舌で決めることを心掛け、本物を見極める年にしたいと思う。幸い、袋井には優れた果物や野菜などがたくさんあるので、これを旬に食べ、運動をして、心身をいつも健康に保つて着実に一日一日を送ることがその要件の一つであるに違いない。